



# Dream

2011年11月号  
Vol. 45-5 2011. 11. 1  
Bulletin

## 会長標語 熱き絆

- |                                    |                           |
|------------------------------------|---------------------------|
| 国際会長主題 「とにかくやろうー成せば成る」             | Finn A. Pedersen (ノールウェイ) |
| アジア地域会長主題 「とにかくやろうー成せば成る」          | Wichan Boonmaparjorn (タイ) |
| 西日本区理事主題 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」       | 浅岡 徹夫 (近江八幡クラブ)           |
| 中部部長主題 「先ず一步楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう」 | 長谷川和宏 (名古屋東海クラブ)          |
| クラブ主題 「限りなき熱情を奉仕に」                 |                           |

### 今月の聖句

あなたがたは、地の塩です。もし塩が塩けをなくしたら、何によって塩けをつけるのでしょうか。もう何の役にも立たず、外に捨てられて、人々に踏みつけられるだけです。あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。また、あかりをつけて、それを柵の下に置く者はありません。燭台の上に置きます。そうすれば、家にいる人々全部を照らします。このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行ないを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。

マタイの福音書 5章 13節～16節

### 強調月間 Public Relations Wellness

#### 例会ご案内

##### ◎11月第1例会

日時:11月10日(木)18:45～20:45

会場:ラ・スースANN

Tel.052-950-0280

担当:鈴木一弘君

開会宣言・点鐘 柴田洋治郎会長

ワイズソング

5つの信条 深川 直君

食前の感謝 八木武志君

— 会 食 —

卓話:「東日本大震災支援活動報告」

講師:名古屋インターアクトクラブOB

豊田高専5年生 古賀 英さん

メンバースピーチ 東田美保君

報告

閉会宣言・点鐘 柴田洋治郎会長

##### ◎11月第2例会

日時:11月17日(木)19:00～20:30

会場:名古屋YMCA 会議室

##### ◎第18回名古屋YMCAチャリティラン

日時:11月5日(土)10:00～

場所:名城公園 外周路

今年も東海クラブは2チームのスポンサーと飲み物を提供します。

お手伝いして頂ける方は8:00現地集合

##### ◎2011-12 中部EMCシンポジウム

日時:11月12日(土)13:30～

会場:愛知県青年会館 Tel.052-221-6001

名古屋市中区栄1-2-3

朝日新聞社南200号

13:30～発題・発表 ワイズを知ろう

15:30～グループ懇談 ワイズを語ろう

17:00～懇親会 ワイズを楽しもう

懇親会費 2500円

##### ◎DBC交流会(奈良・御殿場)

11月19日(土)～20日(日)

奈良クラブと共に御殿場クラブを訪問します。

詳しくは第1例会で。

10月報告 (10月20日現在)

在籍者:正会員21名 広義会員1名

出席者:20名

10月暫定出席率:95.2%

例会は出席第一、欠席の場合は連絡主事まで連絡を!

強い義務感を持つとう、義務はすべての権利に伴う。



### 会長メッセージ ⑤

会長 柴田 洋治郎

#### 団塊世代

私は1949年(昭和24年)

生まれで、いわゆる団塊世代である。団塊世代とは、通常1947年～49年の第2次大戦後の復興期に生まれた世代を指す。この特徴を一言で表せば、極めて人口の多い塊である。因みに1949年の出生数は270万人、47～49年3年間の出生数は806万人であり、これに比し2007年～09年3年間の出生数は325万人と、私達の世代は現在の出生数の何と2・5倍にも当たる。従って、良くも悪くも戦後の日本において大きな影響を及ぼしてきた世代とも言える。

子供の頃、小、中学校は60人学級であり、各学校のグラウンドには急ごしらえのプレハブ校舎が立ち並んでいた。大げさに言えば、この時から激しい競争を運命づけられていたとも言える。進学競争、出世競争もあったが、日本は同時に高度経済成長を経て、世界第2位の経済大国に押し上げられ、1986年～90年のバブル景気に至るまでは経済のパイも膨れ、所得も順調に伸びてきたため、40代に入るまでは比較的順調な足取りを辿ってきたとも言える。ところが、1991年のバブル崩壊とその後の失われた10年により、多くのサラリーマンが収入面も含め人生設計に大きな狂いを生じたことも否めない。同時に日本という国自体が大きな危機に直面したとも言える。

私が以前勤務していた銀行の同僚たちの多くも40才代から他企業への出向、転籍を経験している。私自身も40才の時、縁戚の経営する現在の建設会社に移ったのとほぼ同時にバブル崩壊の直撃を受け、多くの苦労を経験してきたが、今では自分を成長させるための貴重な試練の時期であったと前向きに捉えることにしている。

しかし、ワークホリックといわれた、60才を超えた同世代は今でも巨大な消費市場を提供し、技術者等は定年退職後も技術の承継に寄与している。62才の私自身、誰かが唱えた5L(LIBERAL、LOVE、LINK、LAUGH、LIVE)を目指し、仕事も遊びもワイズ活動もまだまだ、これからと思っている。

最後に一言、団塊世代はワイズのEMC対象として面白いというのが私の持論。少し年齢層は高いかもしれないが、第一線を退き比較的時間の余裕があり、退職後の有意義な人生を模索し、働き過ぎの反動として、これからはおもしろ、おかしく過ごそうという人達だから。

### 10月第1例会報告

#### ●手をさしのべるといふこと

#### ～支援と協働の社会学～

金城学院大学人間科学部

大山 小夜准教授

10月13日 ラ・スースANN

10月の第一例会では金城学院大学人間科学部の大山小夜准教授を卓話講師にお迎えし、「手を差し伸べるといふこと」～支援と協働の社会学～と題してお話を伺った。

愛知県は従来、生活保護の保護率も失業率も低い豊かな県との認識があった。しかし一方では、非正規労働者・外国人労働者が多く就労している県でもあった。好景気の時にはあまり表面に出てこなかった問題が、不況が深刻となった時に「雇止め」という形で表面化した。三河の役所には大勢の人が押し寄せたが、『うちでは受け入れられないから…』と電車賃500円を渡され、名古屋に行くように勧められた。中村区役所には1日約100人が集中し、市民を中心に連日、炊き出しなどの支援が行われた。

支援が必要な人の抱える問題は単純ではなく、生活保護問題、多重債務問題、雇用・労働問題・外国人問題などの多面にわたる支援が必要である。このため法律家・生活保護ケースワーカー経験者・医療福祉関係職者らが中心となって「愛知派遣村実行委員会」が結成された。以後、愛知県では、岡崎市、知立市、豊橋市と、いずれも製造業企業が集中する三河地域において、ほぼ月1回のペースで民間の手による「派遣村」相談会が行われた。

大山准教授は「愛知派遣村実行委員会」のメンバーとして、立ち上げ時から現在に至るまで県内の「派遣村」活動に参加している。その活動内容は、組織運営、相談会の企画・準備・実施、福祉事務所への生活保護申請の同行、住まいを失った人へのアパート探しの付添、相談会で使用された相談票の集計・分析、行政等外部機関への要請活動などである。

これからも継続されるこの活動に声援を送りたい。(ゲスト参加 古賀 英氏、中村雄太氏)



### 10月第2例会報告

10月第2例会での決定事項は以下のとおりです。

- ①11月例会卓話の講師は古賀英氏名古屋インターアクトクラブOB(豊田高専5年)テーマは『東日本大震災支援報告』11月例会担当の野崎君は都合が悪いので担当を鈴木一弘君に変更とする。
- ②10月のメンバースピーチ担当の東田君は時間がなかったため11月に繰延べとする。なお、今後例会の終了時間を守る為、卓話の開始時間を7時30分とすることが確認された。
- ③10月30日南山バザー(ピースフルサンデー)出席者と当日模擬店に必要な備品を確認した。↗

- ④ 11月5日のチャリティーランでの提供飲料仕入れは長谷川君が担当し、氷は伊藤君にお願いすることが確認された。なおチームスポンサー分請求書は未着である旨、報告された。当日集合時間は8時。
- ⑤ 11月19日～20日に東山荘で行われる奈良クラブ、御殿場クラブとの3クラブ交流会は今の所柴田、杉山、八木と野村メネットの計4名である。それ以外の出席者については11月例会で確認する事とした。
- ⑥ 11月12日に開かれる中部EMCシンポジウムの出席者を確認し、11月例会でも再度出席を呼び掛けることとした。
- ⑦ 野村靖子次期メネット事業主任に対する活動支援金については、金銭的なことはもちろん、人的な支援もして行くことが確認された。



### 何とか間に合った！

#### 根の上まつりの駐車場



秋の根の上まつりは10月10日に開催されましたが、それまでには何としても駐車場を完成させたいと、前日の9日に杉山さんと八木さんの3人で最後の追い込みの作業をした。

それまでに一人で(うちの若い衆をつれて)重機を2台もって、3～4回砂利を運び、均す作業をやり、ある程度は出来あがっていたが、まだ柔らかい所もあったので圧延機で抑える作業を杉山さんにやってもらった。火の神様に土を抑える仕事をさせてしまった。

明日はまた思う存分焚火をやってください。夜は八木さんが「あかまんま」での少年部OBの集まりに行ってしまったので杉山さんと二人寂しくタカラキャビンで瀬戸名物の鶏の焼肉で食事。

さて、快晴の10日、杉山さんは焚火の準備、ぞくぞくと「根の上まつり」の参加者がやってきて、車を新しい駐車場に誘導する。皆驚いている。これである程度の集まりで駐車に困ることはないでしょう。やっと我々の念願が一つ叶いました。

根の上まつりの参加者は56名、遠くは東京横浜、つくば、大阪と懐かしい顔が集まりました。東海クラブは遠藤さんファミリーをはじめ22名。メネットは5人、私のゲストは特に公表する間柄ではありません。今年の料理は極上の知多牛と料理長の坂口さんが自ら釣ってきた魚、焼きそば、混ぜご飯、新鮮野菜、デザートと豊富な量で満足、満足。



すっかり堪能し、今までのワークの疲れもふっ飛びました。まだやり残した作業が残っているので、早速23日にまた根の上に来ることにしている。

(山村 喜久)

(写真左=根の上祭り参加者全員委集合、右=あのぬかるみが見事に駐車場になりました)



### 中部便り ⑤

中部部長 長谷川 和宏

#### 被災地へ一人でも多く、送り出したい！

①先月号でワイズの忙しさに弱音を上げたら、ご指摘をいただいた。これが仕事だったら、もっと工夫し、改善策を探るだろう。

まさに新しく受けた仕事なのだと気持ちの切り替えが必要なのだ。であれば「楽しむワイズ」「つなげるワイズ」の活動現場を通じて受けた仕事は現場の改善でしか乗り越えられないだろう。そんな眼で、次の「チャリティーラン」そして「EMCシンポジウム」には臨みたい。改善はトヨタの専売ではなく、ワイズの現場にも求められている。

②被災地の洋菓子店店主が曰く「観光気分でもかまわない、被災者を被写体にしてもよいし、興味本位でもいい」。「現場を見たら感じるから」。「見てもらったら、その後、気持ちが変わる、次第に考えも変わるから、若い人にぜひ来てもらい、ありのままを見てもらいたい」。「がんばろう日本！」ではなく、「おれだち、まげねどー(決してへこたれないぞの意)」の「気概を持った現場人をしっかり眼に焼きつけてから帰って欲しい」と。

若いリーダーを被災地へ一人でも多く、送り出したい。

これをワイズが支えたい。

## お誕生日おめでとうございます

メ ン 11月 6日 杉山 敏雄君  
 11月 18日 遠藤 彰一君  
 11月 21日 服部 敏久君  
 メネット 11月 17日 山田 育江さん

## 結婚記念日おめでとうございます

11月 3日 深川 直君・康子さんご夫妻  
 11月 22日 山田 英次君・育江さんご夫妻



### 今月の西日本区強調月間は Public Relations Wellness です

辻野啓一広報事業主任（奈良クラブ）は「ワイズはワイズ広報デー、ワイズデーの催しや行事を積極的に外部に広報しましょう。できればワイズ以外の方も参加できるイベントを企画しましょう」とアピールをされています。

中部の広報主査は金沢クラブの伊藤仁信君、クラブの広報委員長は橋爪良和君です。

### 東海クラブだより

#### ◇まず参加から始まります

10月、11月はイベントが目白押しです。第1例会、第2例会に始まり、10月10日の根の上まつり、15日のジャガイモ荷下ろし・販売。30日は南山バザー。11月5日の第18回チャリティーラン。19日・20日の奈良、御殿場DBC。そして12月の平和クリスマスカードコンテスト、23日のクリスマスキャロルへと続きます。

毎週の土日にはイベントが何かあるというハードスケジュール。もちろんすべての参加は難しいでしょうが、ワイズは参加してみないとその中身が分かりません。担当されている人の苦勞と喜び。そしてワイズメンの連帯感を、ぜひ参加して実感しましょう。まず始めの一步です。

### 会費納入のお願い

会費 1カ月 7000円  
 年間 84000円

一般会計 振込先銀行口座

三菱東京UFJ銀行

鳴子（なるこ）出張所

普通3542610

口座名義 名古屋東海ワイズメンズクラブ

No.	開催日	10 / 13	10 / 20				ファン ド ポ イ ン
		第 1 例 会	第 2 例 会				
1	浅井 秀明	広 義 会 員					
2	浅野 猛雄	○	○				2400
3	伊藤 貴久	OM					1500
4	遠藤 彰一	○					5400
5	加藤 友昭	○					850
6	柴田 洋治郎	○	○				2550
7	菅沼 東平	○					
8	杉山 敏雄	○	○				9250
9	鈴木 一弘	○					1550
10	鈴木 孝幸	○					12650
11	鈴木 浩之	○	○				
12	野村 秋博	◎	○				
13	野崎 勉						
14	橋爪 良和	○	○				2950
15	長谷川 和宏	○					6650
16	服部 敏久	○					
17	東田 美保	○	○				250
18	深川 直	○	○				
19	松本 勝	○	○				1000
20	八木 武志	○	○				4000
21	山田 英次	○					4000
22	山村 喜久	OM					1850

### ◆2011～2012年度クラブ役員

会 長：柴田 洋治郎 副会長：服部 敏久  
 直前会長：八木 武志 書 記：浅野 猛雄  
 一般会計：深川 直 特別会計：鈴木 浩之  
 連絡主事：東田 美保

YMCAサ・ユース 鈴木・(一)、加藤  
 地域奉仕・環境 松本、野崎  
 EMC (会員増強) 八木、山田  
 ファンド (クラブファンド)

鈴木 (孝)、遠藤、鈴木 (浩)  
 交流 (IBC、DBC) 野村、鈴木 (孝)、橋爪  
 広報・ブリテン 深川、橋爪、菅沼  
 同 (発送) 浅野、長谷川、八木  
 根の上担当 山村、伊藤、杉山、八木  
 メネット連絡員 浅野  
 メール連絡員 柴田 【敬称略】

### ◆中部役員

部長 長谷川 和宏 書記 八木 武志  
 会計 松本 勝 事務局長 浅野 猛雄  
 部会実行委員長 橋爪 良和  
 同副委員長 服部 敏久 【敬称略】